

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークⅡ (4単位)	3. 科目番号	SBMP2156
2. 授業担当教員	祐東 孝好		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>ソーシャルワークⅡは、ソーシャルワークⅠで学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理などを前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、分野を問わずソーシャルワーク実践に不可欠なソーシャルワークプロセス（相談援助の展開過程）についての理解促進を軸に、その過程において必要とされる面接技術や記録技術、アウトリーチや交渉といった専門知識と技術について学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。</p>		
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「相談援助」について理解を深めるとともに、その構造と機能について理解する。</li> <li>2. 人と環境の相互作用について理解する。</li> <li>3. 相談援助における援助関係について理解する。</li> <li>4. 相談援助の展開過程において、各過程の目的、方法（技術）について理解する。</li> <li>5. アウトリーチの目的、方法について理解する。</li> <li>6. 相談援助における面接技術について理解する。</li> <li>7. 相談援助における記録技術について理解する。</li> <li>8. 相談援助における交渉技術について理解する。</li> </ol>		
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	<p>授業の理解度をみる課題を行います。 ※授業の中で提示します。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会 『相談援助の理論と方法Ⅰ（新・社会福祉士養成講座7）』第3版、中央法規出版、2015年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8つの目標について理解し、説明することができたか。（知識・理解）</li> <li>・8つの目標について思考し、考察を深めることができたか。（思考・判断・実践）</li> <li>・8つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。（関心・意欲・態度）</li> </ul> <p>○評定の方法 レポート課題（25%）定期試験（50%）、受講態度（25%）による総合的評価</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>ソーシャルワークⅡは、社会福祉士及び福祉の専門家として基礎となる科目です。授業への出席はもとより、授業への参加、ディスカッションやレポート作成等積極的に取り組んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遅刻、欠席のないようにする。やむを得ず欠席する(した)場合は速やかに書面で届け出る。</li> <li>2. レポートの提出期限を厳守する。提出期限後の提出は減点します。</li> <li>3. 私語や居眠り、学習のテーマ以外の作業、携帯電話の使用、その他授業の妨げとなる行為は、平常点より減点します。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	初回の授業でお知らせします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	○オリエンテーション ○相談援助とは① ・ソーシャルワーカーの具体的な事例 ・仕事からとらえたソーシャルワークの定義と枠組み ・ソーシャルワークを構成する要素	事前学習	教科書 pp2~26 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	ソーシャルワークの定義と枠組みや構成する要素をノートにまとめる。
第2回	○相談援助とは② ・ソーシャルワークの職場 ・ソーシャルワークが所属する組織	事前学習	教科書 pp2~26 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	ソーシャルワークの職場、所属する組織をまとめる。
第3回	○相談援助の構造と機能① ・ソーシャルワークの構造	事前学習	教科書 pp27~51 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	ソーシャルワークの構造についてまとめる。
第4回	○相談援助の構造と機能② ・ソーシャルワークにおけるニーズ	事前学習	教科書 pp27~51 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	ソーシャルワークにおけるニーズについてまとめる。
第5回	○相談援助の構造と機能③ ・ソーシャルワークの機能	事前学習	教科書 pp27~51 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	ソーシャルワークの機能についてまとめる。

第6回	○人と環境の相互作用	事前学習	教科書 54~67 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	人と環境の相互作用についてまとめる。
第7回	○相談援助における援助関係① ・援助関係の意義 ・援助関係の形成プロセスに影響する要因	事前学習	教科書 pp70~93 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	援助関係の意義、形成プロセスに影響する要因についてまとめる。
第8回	○相談援助における援助関係② ・援助構造と援助関係 ・援助関係の質と自己覚知	事前学習	教科書 pp70~93 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	援助構造と援助関係、質と自己覚知についてまとめる。
第9回	○相談援助における援助関係③ ・援助関係とマイクロからマクロの実践領域	事前学習	教科書 pp70~93 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	援助関係とマイクロからマクロの実践領域についてまとめる。
第10回	○相談援助の展開過程Ⅰ① ・相談援助の展開過程の流れ ・ケース発見	事前学習	教科書 pp96~136 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	相談援助の展開過程の流れやケース発見についてまとめる。
第11回	○相談援助の展開過程Ⅰ② ・受理面接(インテーク) ・問題把握からニーズ確定まで	事前学習	教科書 pp96~136 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	受理面接(インテーク)、問題把握からニーズ確定までについてまとめる。
第12回	○相談援助の展開過程Ⅰ③ ・ニーズ確定から事前評価(アセスメント)まで ・事前評価(アセスメント)から支援標的・目標設定まで	事前学習	教科書 pp96~136 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	ニーズ確定から事前評価(アセスメント)、支援標的・目標設定までについてまとめる。
第13回	○相談援助の展開過程Ⅰ④ ・支援標的・目標設定から支援の計画(プランニング)まで ・支援の計画(プランニング)から支援の実施まで	事前学習	教科書 pp96~136 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	支援標的・目標設定から支援の計画(プランニング)、支援の実施についてまとめる。
第14回	○相談援助の展開過程Ⅱ① ・経過観察(モニタリング) ・再アセスメントと支援の強化	事前学習	教科書 pp138~153 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	経過観察(モニタリング)、再アセスメントと支援の強化についてまとめる。
第15回	○相談援助の展開過程Ⅱ② ・支援の終結と効果測定、評価、アフターケア ・予防的対応とサービス開発	事前学習	教科書 pp138~153 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	支援の終結と効果測定、評価、アフターケア、予防的対応とサービス開発についてまとめる。
第16回	○相談援助のためのアウトリーチの技術 ・アウトリーチの意義と目的 ・アウトリーチの留意点	事前学習	教科書 pp156~165 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	アウトリーチの意義と目的、留意点についてまとめる。
第17回	○相談援助のための契約の技術 ・契約の意義と目的 ・契約の方法と留意点	事前学習	教科書 pp168~179 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	契約の意義と目的、方法と留意点についてまとめる。
第18回	○相談援助のためのアセスメントの技術① ・ソーシャルワークにおけるアセスメントの特性、援助的関係、面接 ・アセスメントで得るべき情報16項目と視覚化できるアセスメントツール その1	事前学習	教科書 pp182~204 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	ソーシャルワークにおけるアセスメントの特性、援助的関係、面接についてまとめる。
第19回	○相談援助のためのアセスメントの技術② ・アセスメントで得るべき情報16項目と視覚化できるアセスメントツール その2 ・アセスメント面接で得た情報の使い方	事前学習	教科書 pp182~204 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	アセスメント面接で得た情報の使い方についてまとめる。
第20回	○相談援助のための介入の技術① ・介入の意義と目的	事前学習	教科書 pp206~221 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	介入の意義と目的についてまとめる。
第21回	○相談援助のための介入の技術② ・介入の方法と留意点	事前学習	教科書 pp206~221 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	介入の方法と留意点についてまとめる。

第22回	○相談援助のための経過観察(モニタリング)、再アセスメント、効果測定、評価の技術① ・経過観察(モニタリング) ・再アセスメント	事前学習	教科書 pp224~248 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	経過観察(モニタリング) ・再アセスメントについてまとめる。
第23回	○相談援助のための経過観察(モニタリング)、再アセスメント、効果測定、評価の技術② ・効果測定 ・評価とサービス開発	事前学習	教科書 pp224~248 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	効果測定と評価とサービス開発についてまとめる。
第24回	○相談援助のための面接の技術① ・相談援助における面接の目的 ・相談援助における面接の展開	事前学習	教科書 pp250~268 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	相談援助における面接の目的、面接の展開についてまとめる。
第25回	○相談援助のための面接の技術② ・面接において用いる技術とコミュニケーション ・相談援助における面接の形態	事前学習	教科書 pp250~268 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	面接において用いる技術とコミュニケーション、面接の形態についてまとめる。
第26回	○相談援助のための記録の技術① ・記録の意義とその活用目的 ・記録の種類と活用	事前学習	教科書 pp270~293 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	記録の意義とその活用目的、種類と活用についてまとめる。
第27回	○相談援助のための記録の技術② ・記録の方法とIT化 ・記録の技術の実際例と今後の課題	事前学習	教科書 pp270~293 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	記録の方法とIT化、技術の実際例と今後の課題についてまとめる。
第28回	○相談援助のための交渉の技術① ・交渉の意義と目的 ・交渉の方法と留意点	事前学習	教科書 pp296~315 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	交渉の意義と目的、方法と留意点についてまとめる。
第29回	○相談援助のための交渉の技術② ・プレゼンテーションの技術	事前学習	教科書 pp296~315 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	プレゼンテーションの技術についてまとめる。
第30回	まとめ	事前学習	これまでの授業の内容をまとめておく。
		事後学習	これまでの授業の内容についてまとめる。
期末試験			